

助成受給団体名	ふりがな たけこまちょうぼうはんきょうかい 竹駒町防犯協会
事業の名称	防犯灯の整備促進
実施期間	平成25年8月1日～同26年 1月31日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>1. 町内の既設防犯灯は、殆どが水銀灯や蛍光灯で、経年劣化による照度不足の状態のものが多々ある。</p> <p>2. 昨年度の事業内容は、震災被害を受けた市道沿いの住宅地周辺や集団登下校する通学路の『明るさ確保』を重点目標として、劣化の著しい既設防犯灯のLED灯への切り替えを主体とした整備事業を実施した。</p> <p>3. 今年度は、復旧・復興事業の本格化に伴い、不特定多数の人の出入りが激しくなるなど生活環境が大きく変化してきたことから、町内全域にわたる『安全対策』を重点目標として、防犯灯の未設置個所への新設を12カ所、既設灯のLED灯への切り替え2ヶ所の整備事業を実施した。</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>1. LED防犯灯の設置により明るさが十分確保され安全安心に繋がる防犯対策として大いに期待されている。また、水銀灯や蛍光灯に比べて消費電力が70%もの大幅減となり、維持管理費のメリットも大であり、温暖化防止にも寄与することになる。</p> <p>2. 当協会が設置したLED灯の明るさを実感した地域住民からは、①震災の暗いイメージから明るい希望が見えてきたような気持ちになったとの感謝の声が届き、②ある町内会(90世帯)では独自にLED灯への切り替えや新設を実施した。</p> <p>3. 昨年度から実施してきた本事業の最大の成果は、地域住民がLED灯の整備促進活動を『実感し理解し加担』するようになってきたことである。</p>	
今後の課題	
<p>1. 短期的には、当協会と町内会が共同して「防犯灯の整備促進活動に積極的に取り組む体制」を確立し、明るく安全で安心して暮らせる街づくりを目指す。</p> <p>2. 長期的には、高価なLED灯の寿命が到来した時の交換費用をいかに捻出するか、将来に向けた資金繰り・資金対策を検討しておく必要がある。</p>	

